

問一 次の各問いに答えなさい。

- 1 広く門戸を開放する。
- 2 この辺が潮時だろう。
- 3 親身になって相談にのる。
- 4 木もれ日をあびる。
- 5 日和見主義はいけない。

4	1
5	2
	3

問二 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 日本のコツキは日の丸です。
- 2 カクセイキを使って生徒に指示をする。
- 3 親の恩にムクいて孝行をする。
- 4 婦人雑誌をソウカンする。
- 5 質問があつたら手をあげなさい。

4	1
5	2
	3

問三 次の作品の作者名と、その人物写真を後の語群の中から選び、記号で答えなさい。

- 1 坊っちゃん
- 2 トロッコ
- 3 山椒大夫
- 4 走れメロス
- 5 伊豆の踊子

A 作者名

- a 川端康成 b 森鷗外 c 島崎藤村
 d 宮沢賢治 e 志賀直哉 f 太宰治
 g 夏目漱石 h 芥川龍之介



B 人物写真

B	A	
		1
		2
		3
		4
		5

(攻玉社中学校)

問一 次の各問いに答えなさい。

次(1)～(8)の意味に最も近い熟語を()の中のとばを組み合わせて作りなさい。

(1) どうしたらよいかわからないこと

(2) あわてさわぐこと

(3) 自分の思うままにすること
 (南船 右往 北馬 左往)

(4) すばやいおこないのたとえ
 (平等 自在 主義 自由)

(5) 数多くあってもねうちのないこと
 (火花 石火 電燈 電光)

(6) いろいろ。さまざま
 (一文 三文 二足 二束)

(7) 多くの人が口をそろえて、同じ考えをいうこと
 (多様 多数 多種 絶対)

(8) なりゆきが急にかわって解決すること
 (異議 同音 異口 多数)

(直撃 直下 急転 急行)

(7)	(5)	(3)	(1)
(8)	(6)	(4)	(2)

問二 次の各文のカンにあたる漢字を書きなさい。

1、制度を改めるようにカン告された。

2、カン線道路は車が多い。

3、大きなカン板が出ています。

4、外国へカン光旅行に行きました。

5、図書カンへ行きました。

6、うれしくてカン声をあげた。

7、カン単に説明してください。

8、よい習カンをつけましよう。

9、週カン誌は多くの人に読まれている。

10、そのような話にはカン心がありません。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問三 次の——線の語の中から、ア猫、イ歩く、ウかなしい、エおだやかだと同じ性質のことはを二つずつ選

び記号で答えなさい。形のかわることは、そこで文
 がおわる時のかたちから考えなさい。

- ・1 立派だと2 感心した。
- ・3 美しく4 ががやいた5 銀座の6 明るく7 静かな8 一日でした。

ア
イ
ウ
エ

問四 次の文中——線の敬語について、その種類をあと
 の()の中から選んで、その記号を書きなさい。

- 1、これはあなたが買わいれたもの口ですね。
- 2、これはあなたがなさることではないと八存じ二ます。
- 3、これはわたしがホいたしハましよう。

(a、尊敬語 b、謙讓語 c、丁寧語)

イ
ロ
ハ
ニ
ホ
ハ

(山脇学園中学校)

3 つぎに短歌とその短歌についての説明の文があり
 ます。 の説明の文のうち正しいのはそれぞれど
 れですか。一つずつ選び、符号で答えなさい。

向日葵は金の油を身にあげて
 ゆらりと高し田のちいさをみ

ア このひまわりは、例えば工場の中庭などの、油のか
 かりやすい場所に生えていると考えられる。

イ このひまわりは、例えば金属でつくられた造花であ
 ると考えられる。

ウ このひまわりは、例えばふつつの家の庭などに生え
 ているものと考えられる。

ア 太陽は西の空にみかかっている。

イ 太陽は中天にある。

ウ 太陽はなかは雲の中にあつて、うす日がさしている。

ア 作者の感動の中心は、ひまわりである。

イ 作者の感動の中心は、金の油である。

ウ 作者の感動の中心は、太陽である。

(開成中学校)

4 次の各問いに答えなさい。

問一 次の の——線部のカタカナを漢字に直しなさい

い。

晴れたので洗たくものをホした。
 こんなアツい本は読みきれないよ。

その王がこの国をシハイした。

去年、家をシンチクした。

このペンは百円キンイツの店で買った。

これはもうシヨウウミ期限を過ぎている。

ジシャクを使って砂鉄を集めた。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問二 次の の昔話の A、E にはある動物が
 入ります。その動物が出てくることわざや慣用語をあ
 との語群からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。
 (ただし、BとCに入る動物の順番は問いま
 せん。)

いじわるなおばあさんに舌を切られた A は、親切
 なおじいさんに助けられたお礼として、つづら(箱型)の
 かごに入った品物をあげようと思いました。おじいさん
 は小さいつづらを選びました。

桃から生まれた男の子はお供に B・C・きじ
 を連れて、鬼ヶ島に鬼退治に行きました。

わなにかかったところを男に助けられた D は、人
 間の女の姿になってその男と結婚しました。その夜か
 ら、女は、「決して機を織るところを見ないでください」
 と男に言つて、機を織り始めました。

浜辺で子どもたちにいじめられていた E を助けた
 男は、その E に乗せられて竜宮城へ行きました。

〔語群〕

ア に小判

イ の子は

ウ も鳴かずば打たれまい

エ の涙

オ の甲より年の功

カ も歩けば棒に当たる

キ の一声

ク も木から落ちる

A
B
C
D
E

(百黒星美学園中学校)

① 次のア～コのカタカナを漢字になおしなさい。

ア イチジルしい進歩をとげる。
 イ 病院のカンゴフさん。
 ウ 思い出を心にキザむ。
 エ 漢字のアヤマリを正す。
 オ センモン学校に通っている姉。
 カ 現金を銀行にアズける。
 キ サイバンの結果、無罪となる。
 ク 頭痛によくキく薬。
 ケ 中学生としてのツトめを果たす。
 コ 瀬戸内海エンガンの地域。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(修道中学校)

② 次の から の漢字のよみをひらがなで、 から の——線部のカタカナを漢字で、それぞれ書きなさい。

是正
 養蚕
 仕える
 裁く
 貴い
 川があふれてサイガイを起こす。
 あれそれスイソクする。
 政治のカイカクを行う。
 秋になってククモツを刈り取る。
 山中で道にマヨウ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(芝中学校)

③ 次の空らんについてすべてひらがなで語を補いことわざを完成させなさい。また、その意味を後から選り記号で答えなさい。

1 柳の下にいつも□□はいない
 2 □□も泣かずばうたれまい
 3 □□の川流れ
 4 □□にむら雲花に風
 5 □□にかすがい

ア 物事のつりあいがとれないこと。
 イ いつでも同じ方法でうまくいくとは限らない。
 ウ 言ってきかせても手応えがなく少ししかきめがないこと。
 エ うまい人でも時には失敗する。
 オ よいことを言ったりしたりしなければ災難をまねくこともない。
 カ よい事にはとかくじゃまが入りやすく、うまくいかなこと。

1	1
2	2
3	3
4	4
5	5

(山脇学園中学校)

④ 次の や の中に当てはまる暦のつねのことばや、日目を答えなさい。にはひらがな、には漢字が入ります。

二月が二十九日まである年を¹ 年と言います。
 三月三日はももの² です。
 立春から数えて³ 日め(五月二日)を⁴ といい、昔から作物の種まきに適した時期とされています。
 立秋の前の十八日間を夏の⁵ (ふつつは「夏の」を省いて、ただ⁵ と言つ)と言って、このころには高い大きな波が海岸によく打ち寄せるものです。
 現在の暦で八月十五日は⁶ のお盆に当たります。
 立春から数えて、⁷ 日め(九月一日)を⁸ や
 日め(九月十一日)を⁹ (には、よく台風がやってくる)と考えられています。
 中秋の名月とは、陰暦の⁹ 日の夜の月のことです。
¹⁰ の日、(十二月二十二日)を(北半球では昼が最も短くなります)。

10	7	4	1
	8	5	2
	9	6	3

(慶応中等部)

5 つぎの文には、それぞれ、ことばの使いかたのう
えでおかしいところや標準的な言いかたでないところ
があります。例のようにな、その部分だけをぬき出して、
正しい言いかたに直しなさい。ただし、——のついて
いるものは、その部分は直してはいけません。
(例)放課後の教室には、もう二人つきり残っていなかつ
た。

ア わたしは、うっかりして二階からヤカンを落っことし
てしまった。 つきり しか

イ たとえ息が切れたら、ぼくは走りとおすぞ。

ウ ビカソの絵をこの目で見るしあわせに、ぼくはうち
よつてんになっていた。

エ 「先生、母が二三日うちに先生にお会いしたいとお
っしゃっております。」

オ 100メートル競走だけは決してだれにも負けるま
い、とわたしは心にちかつかた。

オ	エ	ウ	イ	ア

(開成中学校)

6 次の各問いに答えなさい。(関東学院六浦)

問一 次の——線1～5について、敬語の使い方としてふ
さわしいものには、を誤っているものには×をつけ
なさい。

- もしもし、鈴木さんのお宅でございますか。
- はい、そうです。2 あなたはだれですか。
- お父さんの友人の山田と申します。お父さんはいらつ
しゃいますか。

今、3 お父さんは出かけていらつしゃいます。
——そうですか。4 明日は家におりますか。
——はい。
——明日の午後5時、お宅に行くので、よろしくお伝え下さ
い。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

問二 次の作者の作品を後ろのA～Eから選び、記号で答
えなさい。

- 1 太宰治 あざい ぢ 2 夏目漱石 なつめ そうせき 3 宮沢賢治 みやざわ けんじ
- 4 芥川龍之介 あかたがわ りゆうのすけ 5 モンゴメリ もんごめり
- A 銀河鉄道の夜 ぎんがてつだいのや I 蜘蛛の糸 くも ウ 吾輩は猫である わがはい
- E 赤毛のアン あかぬい オ 走れメロス はしり

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

7 次の1～5の——線の語と同じ働きのもはどれ
ですか。後のA～Eから一つずつ選び、記号で答えな
さい。(東京家政学院)

- 1 雨が降ると必ず実施する。
ア 昨日聞いた話とちがう。
イ よからうと思つてしたことだ。
ウ ようやく夏休みとなった。
エ 悪口を言われようと平気だ。
- 2 そのうわさは事実であるらしい。
ア 彼の態度はいかにも男らしい。
イ 犯人はどうも女性らしい。
ウ 女性らしいしぐさが印象的だ。
エ にくたらしい表情をうかべる。
- 3 値段も安い、性能も良い。
ア 子供も子供だが、親も親だ。
イ 青い海が気分を和らげるようだ。
ウ 明日も晴れてくれるといいのだが。
エ 優勝したのはわれらが母校だ。
- 4 私はそんなことは知らない。
ア あまりにもほかの人生をなげく。
イ その部屋には何も無い。
ウ 妹は身体があまりじょうぶでない。
エ 旅行にいけないので、連絡をする。
- 5 彼女はとても熱心に教えてくれた。
ア いつの間にか雨は雪に変わった。
イ 彼にはまじめに勉強することが必要だ。
ウ 明日には熱も下がるだろう。
エ 夜中だといつのにまだ帰って来ない。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

① 次の——線の漢字の読みを、それぞれひらがなで書きなさい。

- 1 健やかに育つ。
- 2 やさしい言葉で心が和む。
- 3 それは至難のわざだ。
- 4 機械を操作する。
- 5 計画の意図を話す。

(関東学院六浦)

② 次の——線のカタカナをそれぞれ漢字で書きなさい。

- 1 突然の災害にソナえる。
- 2 駅と学校をオウフクする。
- 3 貴重品のカンリに注意する。
- 4 緑化運動をスイシンする。
- 5 運動会がエンキされる。

(関東学院六浦)

③ 次の——線のカタカナの部分の漢字に直すとき、その漢字の部首名を後の語群からそれぞれ選び記号で答えなさい。

- 1 試合はエン長戦に入った。
- 2 ギヨウ相が変わった。
- 3 車ソウからの景色を楽しむ。
- 4 ソウ木林に遊ぶ。
- 5 羊をボク舎に入れる。

1
2
3
4
5

- (語群) ア ふるとり イ きへん
 ウ るまた エ えんによつ
 オ さんづくり カ うしへん
 キ つかんむり ク あなかんむり

(山脇学園中学校)

④ つぎの文の——a～dのカタカナの部分、漢字とひらがなの送りがなで書きなさい。
 係の人は、胸をaソラシて、「はい。確かにbウケタマワりました。」と言った。
 河口にcノゾンで建てられた会館は、完成までに多くの日数をdツイヤシた。

c	a
d	b

(開成中学校)

⑤ 次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の1～5の——線部の読みを答えなさい。
 - 1 率先して行つ
 - 2 雨雲が去る
 - 3 軽業のように見える
 - 4 街角の店
 - 5 電話で断る

(2) 次の1～5の——線の部分の漢字で書きなさい。

- 1 さむい朝
- 2 水がたれる
- 3 日の出をおがむ
- 4 冷えたご飯をむす
- 5 むねから首にかけての痛み

(3) 次の1～5を、例にならって上の表現と下の表現が同じ意味になるようにいいかえなさい。

- 例 ア 美しい花 きれいな花
 イ きれいな花 うつくしい花
- 1 遠い国 南国
 - 2 あたらしい気持ち 南国
 - 3 つぶらな目 い目
 - 4 残酷なしうち いしうち
 - 5 りこうな犬 い犬

4	1
5	2
	3

(慶応義塾中等部)

問一 ⑥ 次の各問いに答えなさい。

一次の(1)～(4)の漢字は、それぞれある「きまり」にしたがって並べられている。その「きまり」を考えて、に当てはまる漢字一字を答えなさい。

- (1) 仕⇩休⇩体⇩使⇩ ↓借⇩側
活⇩話⇩ ↓待⇩役⇩投⇩指
(2) 昔⇩服⇩災⇩泉⇩枝⇩針⇩
(3) 雨⇩ ↓鳥⇩的⇩ ↓友⇩者⇩後
(4)

(1)
(2)
(3)
(4)

問二 次の(1)～(4)の数え方に当てはまる言葉を、後のイ～又の中から一つずつ選んで記号で答えなさい。

- (1) 一首の [] (2) 一通の []
(3) 一輪の [] (4) ひとひらの []
イ 自転車 口雲 八俳句 二花
ホ 短歌 へ 三味線 ト 虹 チ 手紙
リ 光 又 新聞

(1)
(2)
(3)
(4)

(大妻中学校)

⑦ 次の(1)～(5)の文に関して、それぞれの問いに答えなさい。

- (1) 「彼の家は静かそうだ。」の「そうだ」は、次のどの意味と同じか。記号で答えなさい。
ア 今年が雪が多いそうだ。
イ 先生は帰るそうだ。
ウ とても楽しそうだ。
エ 彼は北海道生まれだそうだ。
(2) 「夏になると、海はにぎわう。」の「と」は、次のどの使い方と同じか。記号で答えなさい。
ア 友人たちと、野球をする。
イ 何をしようと、僕の勝手だ。
ウ 「早く起きて」と、母が言う。
エ この場所に来ると、いつも思い出す。
(3) 「小さな舟で旅をする。」の「小さな」は、次のどの言葉と同じ種類か。記号で答えなさい。
ア じつとしていなさい。
イ あらゆる手をつくす。

(城西川越中学校)

ウ おそらく彼は来ないだろう。
エ たちまち辺りは暗くなった。

(4) 「ご自由にご覧ください。」の「ご覧ください」は、次のどの敬語の使い方と同じか。記号で答えなさい。
ア 先生がいいとおつしやった。
イ これから参ります。

ウ 居間にある絵を拝見する。

エ そこが私の生まれた家でした。
問一 ⑤ 「これは私の描いた絵だ。」と同じ構造を持つ文は、次のどれか。記号で答えなさい。

- ア 私は、前からやつてくる人をじつと見た。
イ この地球上では、小さい争いことが常に絶えない。
ウ 父はコーヒーが好きで、母は紅茶が好きだ。
エ 僕が通っている学校は、丘の上にある。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

(共立女子第二)

問一 ⑧ 次の各問いに答えなさい。

一次の「ことがらを調べるには、次のア～キのどれで調べるのが最も適当ですか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 昨年の米の生産高
福沢諭吉について
「養蜂」の読み方
「いかつい」の意味
ことは以外のあらゆることがらについて
ア 国語辞典 イ 漢和辞典 ウ 地名辞典
エ 人名辞典 オ 類語辞典 カ 年鑑
キ 百科事典

1
2
3
4
5

問二 次の「線ア」の用法として正しいものを次のA～Hの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 「字もつままいアが、文章もつままい。
つまいが、がまんしよう。
駅ウから出発する。
二階へ行くこうエが。
すきオが、きらいオが、はつきりしない。
A 比較 B 勧誘(さそい) C 順接
D 選択 E 逆接 F 起点
G 経由する場所 H 並列

ア
イ
ウ
エ
オ

問一 次の各問いに答えなさい。
 問一 次の——線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

(1)	ハタを立てる。	
(2)	ムネを張る。	
(3)	フエが鳴る。	
(4)	目とハナの先。	
(5)	ヤサイを作る。	
(6)	キソクを守る。	
(7)	フクソウを整える。	
(8)	警察のシヨチヨウ。	
(9)	車をユシユツする。	
(10)	難民をキュウサイする。	
(11)	遊びにムチユウになる。	
(12)	キケンな場所。	
(13)	タクハイ便が届く。	
(14)	新聞をヘンシユウする。	
(15)	ソングイを受ける。	
(16)	易しい。	
(17)	裁く。	
(18)	異なる。	
(19)	冷める。	
(20)	街角。	

問二 次の条件にあてはまる漢字を答えなさい。
 音読み：カイ 部首名：いとへん 総画数：12
 (答) 絵
 音読み エイ 部首名 さんずい 総画数 8

(1)	テイ	まだれ	10
(2)	シュウ	にんべん	10
(3)	ノウ	にくづき	11
(4)	カン	うかんむり	12
(5)			

問三 次の()に、色を表す漢字を入れなさい。()内の意味に合うよ

- (1) 新 (若葉)
 (2) 昼 (ま昼)
 (3) 幕 (陰の実力者)
 (4) 一点 (男の中の女一人)
 (5) 二才 (未熟な男)

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

問四 次のあげる漢字を に、ある漢数字を に入れると「二人三脚」のような四字熟語が五つ作れます。その四字熟語を答えなさい。には同じ漢字は一度しか使えません。

進鳥 人入 中石 色退 発捨

(淳心学院中学校)

問一 次の問に答えなさい。

問二 次の語の反対の意味をもつ熟語を漢字で答えなさい。
 1 年の瀬もおしせまつて参りましたが
 2 寒さことのほか厳しく
 3 残暑が厳しい日が続きますが
 4 青葉が目にしみる季節となりましたが
 5 毎日つつとつしい天気が続きますが
 (ア) 二月 イ 五月 ウ 六月 工 八月
 オ 十二月)

1
2
3
4
5

問二 次の語の反対の意味をもつ熟語を漢字で答えなさい。

- 1 生産 2 理想 3 善人 4 積極的

5 原因

4	1
5	2
	3

(武蔵野女子学院)

3 次のア～オの俳句に最もよく結びつくことばを、後の1～10の中から選んで番号で答えなさい。(一つのことは、一回しか使わないこと)

- ア 五月雨を集めて早し最上川
 - イ 海に出て木枯帰るところなし
 - ウ 若鮎の二手になりてのほりけり
 - エ 泉わくやときどき高く吹き上ぐる
 - オ 冬山路にはかにぬきとこるあり
- 1 かさかさ 2 いづつ 3 こんこん
 4 しとしと 5 ちゃらちゃら 6 そのそ
 7 ぴちぴち 8 ひゅっひゅっ 9 ぽかぽか
 10 めらめら

ア
イ
ウ
エ
オ

(慶応中等部)

4 次の各問いに答えなさい。(灘中学校)

- 問一 次の1～5に入れるのにふさわしい漢字一字を、それぞれ答えなさい。
- ・彼は人前で話すのがじょうずで、とても1が立つ。
 - ・いまさら嘆いても、後悔2に立たず、だよ。
 - ・そんな言い方だと3が立って周囲に迷惑だよ。
 - ・面接試験に遅刻するようでは、君を推薦した私の4が立たないよ。
 - ・あんな強敵にはとても5が立たない。

1
2
3
4
5

問二 次のA～Hの意味を表す外来語を、それぞれ後の1～8から選び、番号で答えなさい。

- A もめごと。故障。
 - B 乗用車の後部にある荷物入れ。
 - C 転職。
 - D スポーツで、予選の試合。
 - E 農作業などに用いる作業用自動車。
 - F らっぱの形をした、しんちゅう製の金管楽器。
 - G 旅行者用の小切手。
 - H 鋼鉄棒を三角形に曲げて作った打楽器。
- 1 トライアル 2 トライアングル
 3 トラクター 4 トラパーユ
 5 トラブル 6 トラベラーズチェック

7 トランク

F	A
G	B
H	C
	D
	E

8 トランペット

問三 例にあげた「一行」は「いちぎょう」「いつこう」と二通りに読めます。次の1～5の語について、例にならって二通りに読み、また、それぞれの読み方を使った語句を答えなさい。

(例)「一行」 いちぎょう 一行詩
 いつこう 旅の一行

1 一文	
2 分別	
3 言語	
4 工夫	
5 五分	

問四 例にあげたように、ある語の前にひらがな一字を加えると別の語になり、さらにもう一字を加えるとまた別の語になることがあります。後の1～5について同じように答えなさい。

(例) あげる しあげる めしあげる

1 ねる	
2 かう	
3 こむ	
4 かす	
5 ける	

① 次の各問いに答えなさい。
問一 次の1～5の——線のカタカナを漢字に、6～10の——線の漢字をひらがなになしなさい。

- 1 私鉄のエンセンに住む。
 - 2 まったくケントウがつかない。
 - 3 火に油をソソぐ。
 - 4 問題がシンコク化する。
 - 5 夕食を食ベソコなつ。
 - 6 くだものが熟れる。
 - 7 バイオリンの音色。
 - 8 地方の見聞を広める。
 - 9 この道具は重宝だ。
 - 10 年長者を敬う。
- | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

問二 にあてはまる漢数字一字を入れ、下の意味になる四字熟語を完成させなさい。ただし、同じ数字を二回以上使ってはけません。

- 1 三寒 温 (だんだん暖かくなる春の気候)
- 2 七転 倒 (苦しさのためころげまわり、もがく)
- 3 一長 短 (良い点もあるし、悪い点もある)
- 4 千差 別 (多くのものがそれぞれ違っている)
- 5 一日 秋 (待ち遠しく思う)

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

(東京家政学院)

② 次の(1)～(10)の文中の——線部のカタカナを漢字で書きなさい。必要なら送りがなをひらがなで書きなさい。

- (1) スイチヨクな線を引く。
 - (2) 記憶のダンペンをたどる。
 - (3) ウンチンを値上げる。
- | | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

(4) ニンシキを深める。

(5) 事業をカクチヨウする。

(6) 新たなヨソオイ。

(7) スグレタ人。

(8) 命がアヤウイ。

(9) 目をトジル。

(10) ハゲシイ雨。

--	--	--	--	--	--	--	--

(共立女子第二)

③ 次にあげた漢字20字は、「ふ」または「ぶ」「か」「ぶ」ではじまる「ふみ」(音か訓)をもっているものばかりで、それを画数の少ない順に並べてあります。この漢字20字について、あとの問いに答えなさい。

1 不	2 分	3 太	4 夫	5 文
6 冬	7 付	8 再	9 物	10 負
11 降	12 副	13 富	14 深	15 復
16 福	17 腹	18 複	19 聞	20 奮

一 A「フ」という音をもっている字が五つあります。

その漢字の番号を書きなさい。

B「ブン」という音をもっている字が三つあります。

その漢字の番号を書きなさい。

A	B
---	---

二 A 8の「再」「サイ」という字の訓を、送りがないもつけて、ひらがなで書きなさい。送りがなは例のように書くこと。(例 ある・く)

B 10の「負」の訓は「まける」ですが、訓がもうひとつあります。その訓を送りがなもつけてひらがなで、Aと同じ要領で書きなさい。

A	B
---	---

三 A この20字の漢字は画数の少ない順に並んでいます。が、画数の最も少ない4画の漢字は1からどこまでですか。番号で答えなさい。

B 11の「降」という字は何画ですか。算用数字で書きなさい。

A
B

四 A 8の「再」の筆順は、次の三つのうち、どれが正しいかを、記号で答えなさい。
 B 20の「奮」の字の一部分「佳」(ふるとり)の筆順は、次の三つのうち、どれが正しいかを、記号で答えなさい。

A ア 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 B ア 𠄎 𠄎 𠄎
 イ 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 イ 𠄎 𠄎 𠄎
 ウ 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 ウ 𠄎 𠄎 𠄎

A
B

五 次のそれぞれの漢字の「へん」のなまえを書きなさい。
 9 物 11 降 14 深 16 福 18 複

16	9
18	11
	14

六 A 次の の中に、20字のうちから「フク」という音の漢字を選んで入れ、二字の熟語を作りなさい。番号で入れること。

ア 数 イ 社長 ウ 痛 エ 職
 才 社

ア
イ
ウ
エ
オ

B 次の の中に、20字のうちから適当と思う漢字を選んで入れ、二字の熟語を作りなさい。番号で入れること。

ア 期 イ 雨 ウ 興

ア
イ
ウ

七 A 13の「富」と反対の意味をもつ漢字を考え、それを「富」と組み合わせさせて二字の熟語を作りなさい。

--

B 「悪い状態からもちいぢど立ち直ること」という意味をもつ二字の熟語を書きなさい。そのうち一字は、この20字の中にあるものを使いなさい。

--

(慶應義塾中等部 改題)

(1) 4 次の問いに答えなさい。
 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。
 植物の生長カテイを調べる。
 中学校の全カテイを修了する。
 たなばた伝説に出てくるシヨクジヨ星。
 暗いので人の顔をシキベツすることができない。

(2) 次の——線部の漢字の読み方を書きなさい。
 使いやすく重宝している道具。
 持病の発作が起きる。
 まだ分別のつかない子供。
 素性の正しい人。

(3) 次の熟語の の中に、「かい」の読みにあたる漢字を記入しなさい。ただし、同じ漢字を二度使ってはいけません。
 設 約 正 道 適 想

(4) 次の漢字を使い、AとBそれぞれの意味にあたる二字熟語を書きなさい。

A 興
 演芸。かくし芸。
 B おこることほろびること。

A
B

A 修
 精神・人格などをみがき高めること。
 B 仏道を身につけおさめること。

A
B

A 対
 調和をたもってつりあっていること。
 B 二つで一組になっているもの。

A
B

(暁星中学校)

4 花子さんは、次の () の漢字を「漢字の置き方」の同じものどうし四つずつ集めて、A～Dの四つのグループに分けようとしています。「漢字の置き方」の四つのグループの内容は後に説明してあるとおりです。
 ー まず初めに、それぞれのグループにあてはまる漢字を三つずつ選んだのですが、この中にまちがえてある漢字が三つありました。その三つの漢字をそれぞれの番号で答えなさい。

二 続いて、それぞれのグループに、残っている四つの漢字をあてはめました。あてはまる漢字をその番号で答えなさい。

A
B
C
D

〔漢字〕
 林 刃 河 炎 目 上
 究 仕 甘 馬 牛 男
 銅 天 鳥 信

A 目に見えるものの形をかたどって作った文字。
 B 形に表すことのむずかしいことを、図形や記号で示して作った文字。

C 二つまたは三つの、もともたからある基本の字を組み合わせて、新しい一つの意味を表すように作った文字。

D 二つまたはそれ以上の字を組み合わせて、その一部が音を表し、その一部が意味を表すように作った文字。

〔花子さんの分けたグループ〕

- A) ()
- B) ()
- C) ()
- D) ()

(実践女子学園中学校)

5 次の各問いに答えなさい。

問一 次のア～オの漢字の画数を算用数字で答えなさい。

ア 医 イ 逆 ウ 級 エ 臣 オ 門

ア
イ
ウ
エ
オ

問二 次のア～コの () は、すべて「さんずいへん」を使う漢字が入ります。それぞれの文に使われている他のことばに合う「さんずいへん」の漢字一字を書きなさい。なお、キ～コの () で示された箇所には、その漢字に必要な送りが入ります。どちらも、例に従って答えなさい。

例1 関東地方で最大の () は霞が浦です。

答 湖

例2 家に帰ったときや、食事の前にはよく手を () こと。

答 洗う

ア まほうびんに熱いお () を入れておく。

イ 海では毎日 () が満ちたり引いたりしています。

ウ 水は固体、 () 体、気体のどれかの状態で存在しています。

エ 朝早くから、鯛の () に出る舟が数多く見られました。

オ 台風は遠かったのですが、海岸には高い () が次々と打ち寄せていました。

カ 川の () がどこなのかを訪ねて、われわれは沢さかのぼりました。

キ 暑い日だったので、冷たい滝の水を頭から () ました。

ク 演奏が終わるやいなや、あらしのように () はくしゅがまきおこった。

ケ JR東海道線は東京から小田原までの間、だいたいむかしの東海道に () ように走っています。

コ チョウチンアンコウというさかなは、日の光がさしこまないような () 海の底にいるといわれています。

ア	イ	ウ
エ	オ	カ
キ	ク	ケ
コ		

問三 次の1～10のことばの中で、文章(たとえば、作文

や研究報告など)の最初のことばとして使うと、文がおかしくなってしまうものが五つあります。それらを選び、番号で答えなさい。

- 1 うれしい 2 けれども 3 さわやかな
- 4 しかし 5 それとも 6 チャンス
- 7 ところが 8 どんな 9 または
- 10 もしも

(慶應義塾中等部)

- 1 潔い態度
- 2 姿を現す
- 3 賑かな式典
- 4 秘密を暴く
- 5 委員長に推す
- 6 過ちをおかす

問二 次の〱線の部分の漢字のよみを書き、また、その漢字の音を答えなさい。

	j	g	d	a
		h	e	b
		i	f	c

- 〔例〕 就職 答 つく……職に就く
- a 拳手 b 著者 c 負担 d 存亡
 - e 犯罪 f 反省 g 兆候 h 土器
 - i 統一 j 障害
- 問一 次の各問いに答えなさい。
 問一 次の熟語の意味に合うように、〱線の漢字を訓よみしなさい。なお、変化することは(たとえば動詞など)は、いいきりの形で書きなさい。

(京華中学校)

- 14 車をテンケンする。
- 15 キリツを守る。
- 16 二がい経験をする。
- 17 アンガイ難しい。
- 18 魚を川にハナす。
- 19 トモダチをたくさん作る。
- 20 楽器をエンソウする。

- 7 出費を減らす
- 8 水害に備える
- 9 労働を強いる
- 10 人の意見に従う

問三 次の〱線の部分を漢字で書きなさい。

- 1 運をためす
- 2 国をおさめる
- 3 心がなごむ
- 4 荷物をかつぐ
- 5 とつとい経験
- 6 ほがらかな人
- 7 音楽をかなでる
- 8 健康をそこなつ
- 9 事実はいなめない
- 10 あつい視線を送る

(慶應義塾中等部)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問一 次の例にならって反対の意味の漢字を1〜5に入れて熟語を作りなさい。〔例〕上 下

1		2		3	
4		5			

問二 次のA・B・Cの漢字と下の漢字を結びつけて二字の熟語を作る場合、作れないものがそれぞれ一つずつあります。その一つを記号で答えなさい。

- | | | |
|-----|-----|-----|
| A 作 | B 文 | C 語 |
| ア佳 | ア句 | ア源 |
| イ新 | イ序 | イ法 |
| ウ曲 | ウ体 | ウ調 |
| エ家 | エ天 | エ交 |
| オ佳 | オ用 | オ漢 |
| カ伝 | カ注 | カ季 |
| キ試 | キ通 | キ学 |

--	--	--

(鷗友学園女子中学校)

① 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 「コクサイカ」という言葉。
- 2 大地震をケイカした今。
- 3 「キキカンリ」という言葉。
- 4 ツウセツに感じている。
- 5 こつをタイトクした。
- 6 まったくムシして行われた。
- 7 チユウモンがこない。
- 8 センヨウのカヌー。
- 9 夜のリヨウにはカヌーがよい。
- 10 釣糸をタれて魚が来る。
- 11 ヤシしかハえていない。
- 12 ぼくはシヨウチした。
- 13 うねりが船にトドク。
- 14 少しずつへってゆく。
- 15 反論のヨチはなかった。
- 16 老化をフセく。
- 17 タシかにそうかもしれない。
- 18 ハイユウさんのように真似る。
- 19 アンガイ難しい。
- 20 タガをハズせない。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(駒場東邦中学校)

② つぎの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

E組の神谷さんが、本を読んでいて、将来が案じられる」ということには出会いました。

「案じられる」？——「案じ」の意味？ 神谷さんの

質問です。

私はこれを見て「案」という字のいろいろな意味のうち、ここに使われている意味は、確かに、皆さんにほとんど使われていないと思いました。

それから「られる」という助動詞にもいろいろな意味があり、このような使い方、皆さんにはなじみがうすいと思いましたが、この二つが結びついているのですから、意味がわからなくなったのも無理のないことと思いました。この解決には、漢和辞典と文法の本が必要です。

まず、英和辞典で「案」をあけてみてください。

「案」というと、皆さんのよく知っているのは、①案、②案、③案など、「案」が下につく熟語が多いようです。上につくのでは、案④、案⑤など。案件、案出などになると知らないかも知れません。

だいたい、考え、思い、工夫というような、「ア」に代表される意味のことば。このほかに「案」には「案じる」と動詞になり、「イ」という意味があるのです。

「急に寒くなったので、おかげをお引きにならないかと案じています」「は、かげ、引かないかしらと」「ウ」しているのです。

(大村 はま「国語教室通信」から)

問一 ——線 のように「案」という字の意味を、辞典でしらべると、ア物を置く台、イ物事を考えて工夫する、ウ物事についていろいろ心配すること、エかねて思っていたこと、オ計画していたこと、以上のよつな意味がありました。この文章で、筆者が話題として取りあげているのは、どれですか。二つ選んで、記号で答えなさい。

--	--

問二 ——線 「られる」を敬語として使ったときはつぎのうちどれが正しいですか。記号で答えなさい。

- ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

--

問三 「案」という漢字を部首索引でしらべるときは、二通りの部首で引くことができます。その二通りの部首を書いて答えなさい。この漢字の総画数も答えなさい。

部首		総画数	

問四 ① ⑤の中に、適当な漢字を入れて答えなさい。

1		3		5

問五 「ア、イ、ウのなかに、問一の問題文を参考

にしてことばを入れなさい。(アは三字、イは四字、ウは二字で答えること。)

ウ	ア
-----	-----
	イ
-----	-----

(女子聖学院)

3 次の各問いに答えなさい。

問一 次の(1)～(4)の□に()内の意味を加えるひらがな一文字を入れなさい。□が二つの時は二通り答えなさい。

- (1) 野原へ出かけて□草をつんでくる。(繰り返し)
- (2) そんなことを言うな□。(念をおす)

(3) 雪不足 □ スキー場は困っている。(原因)

(4) おもちを五つ□食べてしまった。(強調)

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

問二 □に入れることばを選びなさい。

- (1) 消息を □ (2) 議長を □
- (3) 体験を □ (4) 時代に □
- ア 断つ □ イ 務める □ ウ 切る □ エ 図る □
- オ 後れる □ カ 勤める □ キ 貴ぶ □ ク 裁つ □
- ケ 尊ぶ □ コ 遅れる □ サ 絶つ □ シ 努める □
- ス 測る □ セ 伐る □

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

(青山学院中等部)

4 A群B群各群の——線部分は、敬語(文中に出てくる人や相手に敬意を表す言葉)です。A群と同じ気持ちで用いられているものをB群から選び、それぞれ番号で答えなさい。

A群

- ア 先生は次のようにおっしゃる。
- イ 駅への道はどっちですか。
- ウ 先生にひと言申し上げる。
- エ 先生のお考えはよく分る。

B群

- 1 みなさん方、お聞きください。
- 2 先生の絵を拝見する。
- 3 先生は紅茶をめしあがる。
- 4 母は、まもなく来ます。

(慶應義塾中等部)

ア	イ	ウ	エ
-----	-----	-----	-----

5 日本には、「ことわざなど」、むかしから言い習わされていることばがあります。次の四コマ漫画を見て、後の問いに答えなさい。



(小泉吉宏「フッタとシッタカフッタ」より)

問一 次のアからウのことばのうち、あなたが「この四コマ漫画を最もよく言い表している」と思うことばはどれですか。アからウのうち一つを選び、選んだ記号とその意味を書きなさい。

- ア 後悔先に立たず
- イ 手も足も出ない
- ウ たなからばたもち

□

問二 あなたが選んだことばについて、なぜそれがこの四コマ漫画を最もよく言い表していると考えたのですか。その理由をわかりやすく書きなさい。

(お茶の水女子大学附属)

6 次の漢字を例にならって指示された画数まで書きなさい。

【例】 域(八画) 「答え」

垣

- 何(四画) 飛(四画)
- 善(六画)

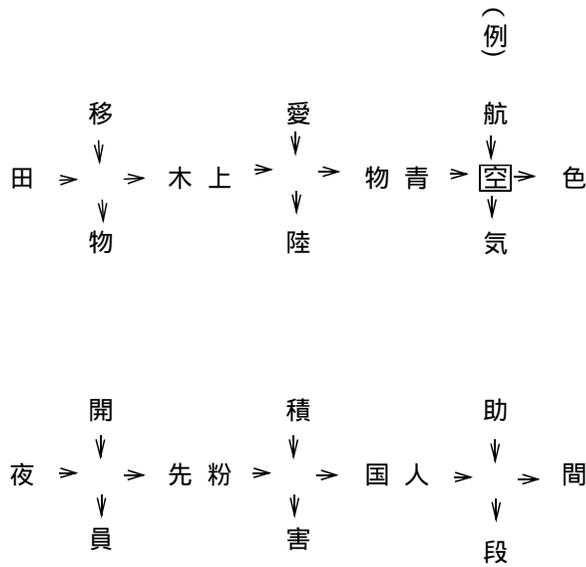
-----	-----	-----	-----
-------	-------	-------	-------

(明大中野中学校)

キ生ク専ケ万コ均サ応シ存
ス同セ千ソ自

(青山学院中等部)

問一 例を見て次の のなかに適当な漢字を入れて熟語をつくりなさい。(ただし上下の二字の結びつきは音読み、左右二字の結びつきは訓読みになるように)



問二 次の例文を読んで、——線部と同じ用法・語意のもの一つ、うしろのA～Eのなかから選び記号で答えなさい。はA～Cにはいる数字の組み合わせをA～Eのなかから選び記号で答えなさい。

- 「この小説の山にさしかかった。」
ア 高い山に登る イ 試験に山をかける
ウ 一山百円のりんご エ 事件は山を迎えた
「ぼくだって百メートルは十三秒で走れるぞ。」
ア 愛される イ 取れる
ウ 感じられる エ 暮れる
「知っていないながら知らないふりをする。」
ア 少年は歩きながら考えた
イ 昔ながらの田園風景
ウ 食べながら話すのはよくない
エ 狭いながらも楽しい家が
一 朝 A 夕 ・ 一 石 B 鳥 ・ 朝 C 暮 D
ア A ・ 一 B ・ 二 C ・ 三
イ A ・ 七 B ・ 五 C ・ 三
ウ A ・ 一 B ・ 七 C ・ 五

エ A ・ 三 B ・ 二 C ・ 五

(女子聖学院)

問三 次の文章はある小学生が書いた作文です。これを読んで後の問いに答えなさい。

先日、父といっしょに東京湾でスズキをつりました。朝五時に起きて浦安から船に乗り、江戸川を下って東京湾に出ました。同じ船に乗っていた人は十人ぐらいでほとんど男の人でした。ぼくはスズキつりは初めてなので仕掛けは全部父に作ってもらい、いわれたとりにつって見ました。さおは一・七メートルほどの竹ざおで、エサはイソメです。スズキの当たりはたいへん強く、ゴツンときてスウツと引いていきます。

父はどんな大物をつりあげました。ぼくは期待して待ちましたが、全々つれません。そこで、父がいつには、当たりと同時にさおを立てないで、左手で糸を用心深くたぐるようにすると、大きなスズキが掛かりました。ひとりではとても手におえず、父に手伝ってもらってやっとりあげました。そのときの気持ちは、空にもほる心地でした。スズキはタイに次いで美しい魚といわれ、味もよいそうですが、つりのおもしろさもまた格別でした。

問四 この文章はいろいろとよくない点があります。次の悪い点をふくんだ文の番号を書きなさい。なお、「気持ち」「気持」のように両方の表記が認められているものはまちがいとしなさい。(文の番号は文の最初に付いています。同じ番号を二度使うこともありませぬ。)

- ア 熟語がまちがっている。
イ 送りがながまちがっている。
ウ かなづかいがまちがっている。
エ かなで書くべきところを漢字で書いている。
オ 意味の似かよったことばを重複して用いている。
カ 慣用句(決まり文句)がまちがっている。
キ 主語と述語が一致せず、文がねじれている。

カ	ア				
キ	イ	ウ	エ	オ	

(慶應義塾中等部)

6年 言語要素プリント 11 解答

1

- 問一 1 もんこ 2 しおどき 3 しんみ 4 こ 5 ひよりみ
 問二 1 国旗 2 拡声器 3 報 4 創刊 5 拳
 問三 (作者名・人物写真の順に)
 1 g・エ 2 h・カ 3 b・ウ 4 f・イ 5 a・オ

2

- 問一 (1) 五里霧中 (2) 右往左往 (3) 自由自在 (4) 電光石火 (5) 二束三文
 (6) 多種多様 (7) 異口同音 (8) 急転直下
 問二 1、勸 2、幹 3、看 4、観 5、館 6、歛 7、簡 8、慣
 9、刊 10、関

- 問三 ア 5・8 イ 2・4 ウ 3・6 エ 1・7

〔解説〕

アは名詞、イは動詞で言い切りは「ウ段」、ウは形容詞で言い切りは「い」、エは形容動詞で言い切りは「だ」。

言い切りをみると、2は「感心する」、3は「美しい」、4は「かがやく」、6は「明るい」、7は「静かだ」。

- 問四 イ、a ロ、c ハ、b ニ、c ホ、b ヘ、c

〔解説〕

イは、助動詞の「れる」で動作の主体(主語)は「あなた」。敬語表現。

ロ、ニ、へは、丁寧語。「です・ます・ございます」などの表現が代表的な表現。ハの「存じる」は、「思う・考える」の謙遜(謙譲)表現。主語は「話し手」で書かれていない。

3

- ウ イ ア

4

- 問一 干 厚 支配 新築 均一 賞味 磁石
 問二 A 工 B・C カ・ク(入れかえ可) D キ E オ
 〔解説〕
 Aはすずめ、B・Cは犬と猿、D鶴、E亀

6年 言語要素プリント 12 解答

①

ア 著 イ 看護婦 ウ 刻 エ 誤 オ 専門 カ 預 キ 裁判
ク 効 ケ 務 コ 沿岸

②

ぜせい ようさん つか さば とうと 災害 推測
改革 穀物 迷

③

1 どじょう 2 きじ 3 かつば 4 つき 5 とうふ
1 イ 2 オ 3 エ 4 カ 5 ウ

④

1 うるう 2 節句 3 八十八 4 八十八夜 5 土用 6 月おくれ
7 二百十 8 二百二十 9 八月十五 10 冬至

⑤

ア 落っこし 落とし イ 切れたら 切れても
ウ 見れる 見られる エ おっしゃって 申して
オ 負ける 負け

〔解説〕

イは前の「たとえ」との呼応関係がおかしい
ウの「見られる」は、いわゆるら抜き言葉を訂正する問題。

⑥

問一 1 2 × 3 × 4 × 5 ×
問二 1 オ 2 ウ 3 ア 4 イ 5 エ

〔解説〕

問一 2は、「だれ」を「どなた」とすべき。3は「お父さん」を「父」、「いらっ
しゃいます」をつかわない。結局、「父は出かけています。」となる。
4は、「おりますか」は謙譲表現なので「いらっしゃいますか」と尊敬表現
する。5は「行く」と普通の表現をしているが、「まいる・うかがう」とい
う謙譲語を使う。

⑦

1 エ 2 イ 3 ア 4 エ 5 イ

6年 言語要素プリント 13 解答

- ①
1 すこ 2 なご 3 しなん 4 そうさ 5 いと

- ②
1 備 2 往復 3 管理 4 推進 5 延期

- ③
1 エ 2 オ 3 ク 4 ア 5 カ

- ④
a 反らし b 承り c 臨ん d 費やし

- ⑤
(1) 1 そっせん 2 あまぐも 3 かるわざ 4 まちかど 5 ことわ

- (2) 1 寒 2 垂 3 拜 4 蒸 5 胸
(3) 1 はるか 2 あらた 3 まる 4 むこ 5 かしこ

- ⑥
問一 (1) 便 (2) 詩 (3) 坂(土がつく字) (4) 飯
問二 (1) ホ (2) チ (3) ニ (4) 口

〔解説〕

問一 (1)は、にんべんでつくりの画数が順次増えている。にんべんでつくりが7画

ならば「係」などほかの字でも正解となる。

(2)は、へんとつくりが交互にかさなっている。

活話詩待

(3)は、わかりにくい日・月・火・水…となっている。
(4)は、しりとりになっている。あめ めし しままと…。

- ⑦
(1) ウ (2) エ (3) イ (4) ア (5) エ

〔解説〕(1)「そうだ」は伝聞(人から聞いたこと)と様態(物事の様子)を表す。「静かそうだ」(様態)と「静かだそうだ」(伝聞)の違い。(2)順接の仮定条件、「もし」(そうしたら、そうなる)。「(3)「小さな・大きな」は連体詞。「小さい・大きい」は形容詞。(4)尊敬語 (5)複文。ア・イは単文。ウは重文。

- ⑧
問一 カ エ イ ア キ
問二 ア H イ E ウ F エ B オ D

6年 言語要素プリント 14 解答

1

- 問一 (1) 旗 (2) 胸 (3) 笛 (4) 鼻 (5) 野菜 (6) 規則 (7) 服装 (8) 署長 (9) 輸出 (10) 救済 (11) 夢中 (12) 危険 (13) 宅配 (14) 編集 (15) 損害
- 問二 (1) 泳 (2) 庭 (3) 修 (4) 脳 (5) 寒 (16) やさ (17) さば (18) こと (19) さ (20) まちかど
- 問三 (1) 緑 (2) 白 (3) 黒 (4) 紅 (5) 青
- 問四 十人十色・四捨五入・百発百中・一石二鳥・一進一退

順不同

2

- 問一 1 才 2 ア 3 エ 4 イ 5 ウ
- 問二 1 消費 2 現実 3 悪人 4 消極的 5 結果

3

- ア 2 イ 8 ウ 7 エ 3 オ 9

4

- 問一 1 弁 2 先 3 角 4 顔 5 歯
- 問二 A 5 B 7 C 4 D 1 E 3 F 8 G 6 H 2
- 問三 1 いちもん・銭を一文(二東三文)、いち(ひと)ぶん・一文を書きなさい
2 ふんべつ・彼は分別が足りない、ぶんべつ・ごみの分別
3 げんご・言語に絶する(言語学)、ごんご・言語道断
4 くふう・工夫して模型を作る、こうふ・線路工夫(鉄道工夫)
5 ごぶん・後五分で始まる、ごぶ・一寸の虫にも五分の魂

解答は、すべて例です。読み方が同じという条件を満たしていれば、正解となります。

- 問四 1 すねる・くすねる(かねる・みかねる、こねる・そこねる、かねる・しかねる)

2 ちかう・つちかう(つかう・あつかう、むかう・はむかう)

3 みこむ・のみこむ(しこむ・さしこむ、みこむ・ふみこむ、きこむ・かきこむ、しこむ・おしこむ)

4 いかす・すいかす(でかす・しでかす、まかす・ごまかす、ばかす・そばかす)

5 やける・ふやける(かける・でかける、かける・しかける、ばける・さばける)

6年 言語要素プリント 15 解答

- 1
- 問一 1 沿線 2 見当 3 注 4 深刻 5 損 6 う
- 7 ねいろ 8 けんぶん 9 ちょうほう 10 うやま
- 問二 1 四 2 八 3 一 4 万 5 千

- 2
- (1) 垂直 (2) 断片 (3) 運賃 (4) 認識 (5) 拡張
- (6) 装い (7) 優れた (8) 危うい (9) 閉じる (10) 激しい

- 3
- 問一 A 1・4・7・10・13 B 2・5・19
- 問二 A ふたた・び B お・う
- 問三 A 5 B 10
- 問四 A イ B ウ
- 問五 9 うしへん 11 ござとへん 14 さんずい 16 しめすへん 18 ころもへん
- 問六 A ア 18 イ 12 ウ 17 エ 15 オ 16 B ア 6 イ 11 ウ 20
- 問七 A 貧富 B 再起

- 4
- (1) 過程 課程 織女 識別
- (2) ちょうほう ほっさ ふんべつ すじょう
- (3) 開(設) 解(約) 改(正) 街(道) 快(適) 回(想)
- (4) A 余興 B 興亡 A 修養 B 修行 A 対称 B 一對

6年 言語要素プリント 16 解答

- 1 救済 2 響(く) 3 専心 4 消費 5 省略 6 和(らく)
- 7 おもかげ 8 かんそ 9 ばんぜん 10 ま
- 11 きんもつ 12 かいたく

- 1 濃 2 歴史 3 承知 4 麦茶 5 招 6 宗教
- 7 複雑 8 相談 9 伝統 10 貯蔵 11 けんじつ 12 しんく
- 13 まと 14 しゅうしゅく 15 かたむ 16 ゆ 17 きよだい
- 18 すじ 19 けいしゃ 20 はそん

- (B)(A) 3
- コ ア キ エ カ オ ケ ウ

- 4
- 一 . .
- 二 A B C D
- 〔解説〕
- 一 Aは象形文字、Bは指事文字、Cは会意文字、Dは形声文字。

- 5
- 問一 ア 7 イ 9 ウ 9 エ 7 オ 8
- 問二 ア 湯 イ 潮 ウ 液 エ 漁 オ 波 カ 源 キ 浴び
- ク 激しい ケ 沿う コ 深い
- 問三 2・4・5・7・9

6年 言語要素プリント 17 解答

18	13	7	1
精密	早業	周期	離陸
19	14	8	2
遺族	筋道	復旧	専念
20	15	9	3
前兆	織物	未聞	対称
	16	10	4
	倍率	派生	燃烧
	17	11	5
	救助	拝借	逆転
		12	6
		操縦	辞表

- ①
- (1) どんどん
- (2) じりじり
- (3) さらさら
- (4) しゃきしゃき
- (5) ぴちぴち

18	13	7	1
放	退	究明	あやま
19	14	8	2
友達	点検	許	はか
20	15	9	3
演奏	規律	対策	いさん
	16	10	4
	苦	群	きょうり
	17	11	5
	案外	地域	かさ
		12	6
		逆	展開

- ②
- 問一
- a あげる
- b あらわす
- c おう
- d ほろぶ(なくなる・なくする)

- 問二
- i すべる
- j さわる
- h うつつわ

- 問三
- 1 いさぎよ・けつ
- 2 あらわ・げん
- 3 おごそ・げん、ごん

- 問四
- 1 朗
- 2 試
- 3 和
- 4 担
- 5 貴

- 問五
- 1 損
- 2 縦
- 3 敗(負)
- 4 暖(暑)
- 5 進

6年 言語要素プリント 18 解答

- 1 国際化 2 経過 3 危機管理 4 痛切 5 体得 6 無視
 7 注文 8 専用 9 漁 10 垂 11 生 12 承知 13 届
 14 減 15 余地 16 防 17 確 18 俳優 19 案外 20 外

2

問一 イ・ウ

問二 ア

問三 部首：木、宀 総画数：十画

問四 1 議 2 提 3 答 4 内 5 外

問五 ア考える イ心配する ウ心配

3

問一 (1) は (2) よ (3) で・に (4) も

問二 (1) サ (2) イ (3) キ (4) オ

4

ア 3 イ 4 ウ 2 エ 1

5

問一 (記号)ア

(意味)何かを失ったあとでくやんでも、取り返しがつかないという意味。

問二 例犬にケーキを食べられてなくなった後で、やっぱり食べておけばよかったと後悔しているのは、このことは通り無駄なことだと考えたから。

6

何 飛 羊

〔参考〕

は 部首「イ」(にんべん)、「」、総画数7画

は 書き順では頻出の漢字です。部首は「飛」、総画数9画

は 部首「口」(くち)、「」、総画数12画

ノ イ 何 何 何
 羊 羊 羊 羊 羊

6年 言語要素プリント 19 解答

- 1 格好
2 降
3 幹事
4 視界
5 追究
- 6 博物館
7 秘境
8 収容
9 卵
10 推定
- 11 性急
12 固有
13 不器用
14 興味
15 気配
- 16 当否
17 専念
18 干
19 小刻
20 不思議
- 21 窓
22 留守
23 確

- 1 かたすみ
2 いなか
3 いけがき
4 さくもつ
5 しの
- 6 だいじょうぶ
7 えが
8 こう
9 ちぢ
10 たな
- 11 いらよく
12 せんかい
13 したところ
14 要
15 捨
- 16 主張
17 貧乏
18 節約
19 警戒
20 制限

3
イ・エ・カ・ク・ケ・コ・ス

- 4
問一 手 着 雪 植 店
問二 エ イ エ ア

- 5
ア イ ウ エ オ カ キ
- 〔解説〕
ア 「全々」は「全然」が正しい。
イ 「美しい」が「美い」となっている。
ウ・エ とうりについて見ました。「とおり」は「とおり」が正しい。「見ました」は、実際に見たのではないから、ひらがなで書くべき。
オ 「期待して待ちました。」で、「待」が二度重なって使われている。
カ 「空にもものぼる心地」は「天にもものぼる心地」が正しい。
キ 「父がいうには」と「大きなスズキが掛かりました。」の係り受けがおかしい。

